

令和3年度シラバス（国語・現代文B）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	4	選択

教科書	学習書・他教材
『新編 現代文B 改訂版（大修館書店）』	なし

学習目標
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する力を高め、進んで読書する態度を育てる。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲 (学習期間)
「きっと叶いますよ」 「『迷う』力のすばらしさ」 「ざしきわらし」	<ul style="list-style-type: none"> 随想を読むことの楽しみを知り、他者に自分を伝えるために書くことの工夫がわかる。 叙述をしっかりと押さえながら、筆者の主張を確実にとらえる。 小説を読む楽しみを知る。 登場人物たちがどのような人物として描かれているのかを読み、主人公の心情の変化を正しく読む力を養う。 	前期中間考查
「言葉は変わるもの、 されど伝承すべきもの」 「祖母が笑うということ」	<ul style="list-style-type: none"> 日常使われる言葉を見つめ直し、問題意識を持つ。 文章を的確に理解し、伝統的な日本語への興味・関心を広げるとともに、正しく美しい日本語の力を身につける。 表現の面白さを感じ、文章を読む楽しさを味わう。 人物、情景、心情の描写を的確にとらえ、感性や情緒を豊かにする。 	前期期末考查
「どんな人になりたかったか？」 「こころ」	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来像を考えさせるとともに、筆者の心のうちを的確に読み取らせる。 登場人物の言動や心情を深く理解する。 場面や時間の推移に注意して、構成や展開を把握し、人物の構造や心境を読み取る。 	後期中間考查
「幸せの分量」 「敬語への自覚、他者への自覚」	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の特色やそこに生きる人間の「幸せのあり方」について理解を深める。 日本語における敬語の役割について考え、その必要性を理解する。 	後期期末考查

評価規準と評価方法				
評価は、次の5観点から行う。				
①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じ、適切な聞き取りや話し合いをし、自分の考えを深めようとしている。	適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めようとしている。	文章を的確に読み取り、知識や思考を深めようとしている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

授業の進め方、課題・提出物など
学習用プリント、ワークシート、ノート等の提出物の評価が、平常点に組み入れられ、定期考查とともに評価の対象となります。

担当者からのメッセージ
読むことを通して自己を見つめ、話したり、書いたりといった主体的に伝え合う力を高めていきましょう。受け身ではなく、自ら学ぶ姿勢を持ち、日常生活の中でも積極的にことばに関わりましょう。

